

車いすバスケットボール体験教室 (東白川小学校) を実施しました

令和元年11月6日(水)、東白川村立東白川小学校5・6年生の児童24名と車いすバスケットボールチーム「岐阜SHINE」6名のメンバーが交流しました。

児童は、「岐阜SHINE」の選手による17分間のデモンストレーションで車いす同士の激しいプレーやシュートを間近で見て、とても驚いていました。デモンストレーションの途中に他の学年の児童も見学しに体育館を訪れ、気が付けば全校児童が見学することになり、選手もここぞとばかりに果敢にシュートを決めようと頑張っていました。

続いて、児童は車いすに乗って前後進行練習や鬼ごっこを行いました。

鬼ごっこでは、“スイスイ”と鬼から最後まで逃げ切った児童に対し、みんなは拍手を送っていました。



車いすに慣れてきた児童は、シュート練習をしました。児童が遠くからシュートを決めたときには、まわりにいた先生や選手らが「上手だねー！」と予想以上の上手さに感動していました。

その後、4チームに分かれた児童は試合を行い、うまくパスを回し、必死でゴールを目指しました。シュートが入ったときには、ゴールを入れたチームと応援の児童が「イエーイ！」と声を上げ、大興奮となりかなり盛り上がりました。試合後には、車いすによるリレーの対抗戦を行い、「がんばれー！」とまわりからの声援を受け、みんな必死に1位を目指していました。

車いす体験を終えた児童は、3グループに分かれ、その中に選手2名を交えて『語る会』を行いました。鬼ごっこなどですっかり選手と仲良くなった児童からは沢山の質問があり、丁寧に答える選手の話に児童は真剣に耳を傾けていました。

最後に、みんなで記念写真を撮って体験教室は終了しました。

